

藤沢市交通マスタープラン策定協議会 第3回協議会 議事要旨

- 日 時 : 平成25年5月31日(月) 13:30~15:30
- 場 所 : 藤沢市民会館 第2展示ホール
- 出席者 : 委員25名(五十音順・敬称略・下線は代理出席)

荒川 義則	<u>池田厚二郎</u>	市古 元臣	榎本 考暁	岡村 敏之	加藤 正美
<u>金子 健治</u>	川村 聖	岸井 隆幸	<u>黒田 聡</u>	<u>斉藤 勇</u>	<u>志村 知昭</u>
鈴木 隆夫	<u>清野 尚</u>	高橋 信之	綱島 真人	原 博文	<u>寶珠山正和</u>
三木 健明	村木 薫	<u>森 勝彦</u>	矢後 勇	山口 拓	山田 正文
山田 護					

- 次 第 : 1. 開会
2. 議事
(1) 藤沢市交通マスタープランの策定について
(2) 自転車検討会の設置について
3. その他
- 配付資料 :
 - ・次第
 - ・委員名簿
 - ・出席者名簿
 - ・座席表
 - ・第2回藤沢市交通マスタープラン策定協議会
～意見と対応～
 - ・第3回藤沢市交通マスタープラン策定協議会 討議資料
 - ・自転車検討会運営要領
 - ・自転車利用環境整備計画策定に向けた取組について
- 傍聴者 : なし

1. 議事

- 藤沢市交通マスタープランの策定について
【事務局】資料説明

【会長】

- ・改めて全体のスケジュール感の確認をする。本日は第3回で、全体と地域について意見交換を行う。
- ・それをもって庁内関係各課との意見照会や地域の組織である郷土づくり推進会議との意見交換を行う。
- ・第4回で取りまとめを行い、地区別の説明会に関する意見の集約を行っていく。
- ・については、まず、全体の意見をうかがってから地区別の話に移っていききたい。

【A委員】

- ・P.45の駅までの自宅からの所要時間の文面について、「満足度が平均値を超え、重要度が比較的低い」という調査結果の記述がある。これは、それほど問題視すべき事柄ではない、と捉えられるのではないか。
- ・もしこの課題について改善を行っていくのであれば、表現を変えた方が良いのではないか。

【事務局】

- ・表現が分かりづらいところがあったので、文章の修正をする。

【B委員】

- ・P.58に「将来の交通像に対応した基本方針」とある。その中で「だれもが快適に移動できる」という記述がある。生活の手段は色々あり、駅に行けることも大事だが、それが交通の骨子ではないと思う。

【事務局】

- ・「最寄りの鉄道駅まで15分以内でいけるようにする」という目標を市政方針が掲げており、鉄道駅へのアクセスに関する記述になっている。しかし、鉄道駅に行かずに、自動車などを使用して生活されている方も確かにいるので、表現は修正したい。

【C委員】

- ・P.58の基本方針2に「都市の活力」という表現があるが、これはどういった意味合いか。藤沢市に人を集めたいということなのか。恐らく交通の活力と解釈するのではないかと思うが、良く分からない。

【事務局】

- ・平成26年に開通する、さがみ縦貫道路や東名高速の綾瀬インターチェンジなど、広域的な交通ネットワークが形成されてきている。また、JR東海道線の村岡新駅の整備や、いずみの線の延伸計画など広域的な鉄道ネットワークの計画もあり、地域内で移動しやすい環境を整備することで活力を生み出

していきたいということを記述している。その辺が分かりにくいという事だ
と思うので、熟慮して修正したい。

【会長】

- ・ P.65にあるように都市計画マスタープラン（以下、「都市マス」とする）の
中で「活力」という言葉は既に使用されているという理解で良いか。

【事務局】

- ・ そうです。

【会長】

- ・ 生活拠点としては大きく4つ（藤沢駅周辺・辻堂駅周辺・湘南台駅周辺・健
康と文化の森）あるが、そこまで30分以内で移動できるようにする、とい
うような認識か。

【事務局】

- ・ 最寄りの駅から近い都市拠点まで30分というのを目標にしようと考えてい
る。

【会長】

- ・ 高齢社会になることで、生活拠点、例えば病院やコミュニティ施設まで30
分、ということも考えられる。基本方針1のモビリティの確保という部分で、
30分とは病院などがある生活の拠点までというのを指していると理解して
いる。
- ・ そういったことを考えた際に、P.60の図に関連するが、都市拠点まで30
分で行けないエリア、というのは図示は難しいか。

【事務局】

- ・ 検討はしているが、今回は時間の関係で準備できなかった。

【会長】

- ・ そのような図があるとわかりやすいと思う。

【D委員】

- ・ P.45のアンケートについて、駐輪場・駐車場から10分以内というのが目
指すべき水準であるとの記述があるが、駐輪場については、10分というの
は目指すべき水準とは言えないのではないか。駐輪場と駐車場を一緒にして
しまっているために、そういった問題が生じていると思う。
- ・ また、P.50の歩道や歩行空間について、6割が満足とあるが、満足度とい
うのは地域それぞれの地形で全く異なってくると思うので、地区別に集計し
直すなどした方が良いのではないか。

【会長】

- ・ 駐輪場についての指摘は対応をお願いしたい。

- ・歩行空間については、不満がどこの地域であるのかということが問題なのではないか、地域別にわかるのか。

【事務局】

- ・歩行空間に関しては、サンプル数などの問題もあるが、切り口を変えて対応したいと思う。

【E委員】

- ・歩行空間のところに入るのかもしれないが、道の歴史といったことを取り上げるべきではないか。最近、旧街道のウォーキングツアーの実施などをテレビやブログなどで見る機会も増えた。藤沢市も旧東海道が通っているので、街道沿いの景観を工夫するだとか、その道に関する案内板を整備するといったことをしてはどうか。これによって藤沢市に訪れる人が増えてくるのではないかと思う。その際、隣接自治体である横浜市、茅ヶ崎市と連動していけたら良いと思うがどうか。

【事務局】

- ・基本方針のところ、地域特性や回遊性といったことに触れているので、そういったところで考えられるかもしれない。ただ、交通マスタープラン（以下、「交通マス」という）は交通面に重きをおいており、景観などは都市マスなど他の計画に任せる形になっている。しかし、ご意見いただいたので交通マスの中で記述できるか検討したいと思う。

【会長】

- ・歴史の観点についてはどこか上手く入れていただきたいと思う。
- ・基本方針3でも環境問題について公共交通、自転車とあるが、楽しく歩くという観点もあるので考えて欲しい。
- ・基本方針4に関連して、最近の話題だと、安全・安心というところで、病院だとか福祉施設との関連で、人が快適に歩ける空間を整備した方が、結果として健康になり、医療費がかからなくなるという考え方もある。そういった観点も地域別に考えるときには取り入れていけないか。

【F委員】

- ・P.70の部分だが、道路に関して、維持管理という観点は入らないのか。

【事務局】

- ・会長とも相談させていただいて、アセットマネジメントの観点についても少し書き込んだ方が良いのではないかとということで、検討はしている。しかし、落とし込み方が難しくまだ内容に入っているわけではない。どこかに入れることを考えていきたいと思う。

【会長】

- ・維持管理については、交通施設の維持管理も当然考えていかなければならない。また、病院や公民館など建て替えが起きているが、施設の立地に関して、どう交通行動と連関してまちづくりを行っていきけるか、という視点も重要である。ただ、地区別に具体的に考えていかなければならないということではないかもしれない。少しでも読み取れるようにしてほしい。

【G委員】

- ・関連してP.70の基本方針4について、歩道拡幅や段差の解消に加えて、電柱の地中化、といったことはバリアフリーの中に入らないのか。避難路の整備などと併せてどこかに記述した方が良いのではないか。

【会長】

- ・書き方としてバリアフリーという用語の意味がやや狭い可能性がある。ユニバーサルデザインなどの用語を使用してはどうか。

【H委員】

- ・2点ほど質問がある。1点目、P.61に記述されている「地域提案型バス」とはどういったものを想定しているか。
- ・2点目、「スクールバスや送迎バスの一元化、乗合化」というのは一般人と混乗するようなイメージか。既に施策として何かイメージを持たれていたら教えて欲しい。

【事務局】

- ・「地域提案型バス」というのは藤沢市で独自につけている名称で、地域の方々の要望を市が受けて、事業者に掛け合い、調整する形式をとっている。但し、運行補助や赤字に関して市から補助は出さない。現在、大体市内の7、8地区で運行されている。代表例としては、藤が丘などは高低差があるということもあり、地域の方から提案があり、それを実行したような形である。
- ・2点目について、現在のところ一般的な施策イメージとして用いていて、具体的な施策イメージまでは考えていない。

【I委員】

- ・P.42に自転車ネットワークの方向性とあり、図を見てみると、必ずしも駅に集中しているわけではなく、縦横に自転車の移動が見られる。その部分で多くの人に移動ニーズがあるということと思うが、今後高齢化社会になり、自転車が使えない方もでてくると思う。そういったところでコミュニティバスやデマンドバスを走らせるといったことは考えられるのではないか。

- ・ P.18を見ると、現状として、地価の高い駅前周辺に病院などが立地しているわけではなく、かなり分散している。駅まで15分というのも良いが、世の中の状況もかなり変わってきているので、もう少し方向を変えて検討された方が良いのではないか。

【会長】

- ・ 今、P.42でご指摘いただいたところについて、そもそも現在バスは走っているのか。

【J委員】

- ・ P.42でいうと、ほとんどのところにバスは走っている状況。昔から、ある程度道路があるところは走らせている。ただ、大型の路線バスが走れないところは全く手を付けていないため、自転車や自動車がメインの移動手段になる。
- ・ 「地域提案型バス」については、昔から市から相談いただいて小さいバスを運行してきたような経緯もある。将来的には、広げられるところには広げたいと考えている。その際、現在市よりバス車両の初期投費は出してもらっているが、公的な資金による運行費用の赤字補填なども考えて欲しい。
- ・ P.41で、2030年には1.3万人バスの利用者が増えるという推計が出ているので、それまでは歯を食いしばってでもやっていきたいと考えている。ただ、現在の実態としては右肩下がりである。しかし、将来利用者が増加するということが分かっているということであれば、きちんとネットワークを維持しながら、大型の路線バスが走れないような地域では、小さい定期バスや乗り合いタクシーのようなものも一つの手段であると思う。

【会長】

- ・ バス需要はどこでも減っており、厳しい状況である。
- ・ 最初の方の議論に戻るが、駅まで15分、30分という目標があったが、指標やキャッチフレーズとしては分かりやすい。しかし、基本方針を考えていくと指標はこれだけではなくて、例えばCO₂をどうするのか、交通事故をどうしていくのか、安全・安心では消防活動の出来ない区域をどうするかなど、考えていかなければならない。
- ・ 市民の方に見せる際には、分かりやすい指標をなるべく入れて、見て理解しやすいものにして欲しい。図表等を補強する必要があると思う。
- ・ ここまで市全体の話だったが、ここから地区別の話で聞いていきたい。ただ、個別の地区に注目しすぎてしまうと色々出てきてしまうと思うので、まちづくり全体に係るところで、これは厳しいのではないかと、こういった考えを取り入れた方が良いのではないかと、こういった問題もあるのではないかと、と

いった意見をいただきたい。

【D委員】

- ・基本方針1で、デマンドバスや乗り合いタクシー、乗り合いタクシー・ワゴンといった言葉が出てくる。デマンドバスはかなりの地区で施策として出てきており、乗り合いタクシーは長後地区、乗り合いワゴンは善行地区、湘南大庭地区、西北部地区の3地区に記述が見られる。
- ・このように様々な地区で提案されているが、デマンドバスについて、各地区ではどれくらい導入の可能性はあるのか。
- ・また、乗り合いタクシーと乗り合いワゴンの違いは何か。

【事務局】

- ・デマンド交通はバスとタクシーの中間領域だと思ってもらえれば良いと思うが、まず、具体的に動こうとしているのが、住民のニーズが高い善行地区である。もう一つ六会地区でも現在同様の検討がなされている。この地区は高低差があり、高齢者がなかなか駅にいけないということで、デマンドバスまたはタクシーの導入を検討している。
- ・しかし、デマンド交通は運行が苦しい状況があり、なかなか独立採算をとることができない。基本的には、市では運行補助はしないので、地域の方の利用促進を含めて、タクシー事業者やバス事業者と検討を進めている。
- ・乗り合いワゴンと乗り合いタクシーについては言葉の統一ができておらず、精査して、修正したい。

【会長】

- ・地域の需要に応じて公共交通施策を検討していくのが良いと思う。その形として様々あるが、たとえば、この地区は乗り合いワゴンだとか、この地区は乗り合いバスだとかということを今決めてしまうのは少し早い。住民説明会などで誤解を生まないようにする必要がある。

【B委員】

- ・P.76について、藤沢駅の駅前広場空間の改善とあるが、そもそも駅広空間が無いのではないか。私は駅の周辺にはターミナルがないといけないと思っている。お金も時間もかかるが、空間をもっと広げないといけないのではないか。
- ・自転車駐輪場の整備ともあるが、そもそも足りない状況である。P.43で10時と15時における放置自転車の台数が数えられているが、その時間の後にもっと並んでいる。整備でなく拡大をしてほしい。
- ・また、徒歩での南北の移動は駅のターミナルを通じてしかできない。自動車

の往来もできない。そのため、狭い路地に自動車が乗り込んできて危険である。以上が、駅周辺の問題ではないかと思う。

【会長】

- ・個別の地区の内容について議論を深めると、こういった意見は多く出てくるものだと思う。今回は地区別の内容を横断的に見ていただいて、第1段階として、基本方針で触れられていない問題があるなど、基本方針にかかるような大きなところがあれば、是非意見をいただきたい。個別には事務局に言っていただいてもよい。

【I 委員】

- ・P.88に片瀬・江の島地区についての交通施策が記述されているが、津波の対策についてはどこかで触れるのか。ここに入るものかはわからないが、必要ではないか。避難経路の情報提供といったことで入ってくるのではないか。

【会長】

- ・現在藤沢市の津波対策の状況はどうなっているのか。

【事務局】

- ・県の方の基準が変更され、片瀬・江の島地区などの浸水区域も示されている。津波浸水対策の中で、海に近い方は高台へ、海から少し離れた人は水平移動で逃げる、といったことを検討している。
- ・交通マスの中でも、地域のところで入ってくる。たとえば片瀬地区では地区内の高台の山の方への避難についてなど、記述を加えていきたい。

【会長】

- ・P.22に津波の浸水予測図があり、これが正しいとすれば、江の島に関してはとにかく高台に逃げればよいということ。大事なのは、観光客が逃げるときにどうしていけばよいのかという部分で、交通面からもきちんと対応が行われているのかという事。片瀬江の島については観光客も含めた対策を考えていく必要がある。
- ・回遊性という議論もあるが、人が集まりやすいところの対策をどうしていくのかといったことも考えていかなければならない。

【D 委員】

- ・参考情報だが、湘南江の島の魅力アッププランの中で災害時の取組ということで、ハザードマップなどが提案されている。既にこういった資料もあるので、既存の情報を参考にしながら計画を立てていくのが良いのではないか。交通マスの中ではあまり細かい部分には触れないという印象を持った。

【会長】

- ・今あげていただいたような細かい部分には触れていないということをしちん

と記述し、広域防災の局とも話をしながら調整をしていく必要がある。

【K委員】

- ・国道134号線などでは、道路情報板の設置を行っているので、そういったことの記載も検討して欲しい。

■ 自転車検討会の設置について

【事務局】 資料説明

【会長】

- ・所管は都市計画課という理解で良いか。

【事務局】

- ・そうです。

【会長】

- ・自転車に関する提案はこれで良いか。
(委員全員賛同)

■ 全体を通して、今後の進め方について

【副会長】

- ・P.58について、ここは概要版として市民向けのリーフレットに入れ込むようなものだと思うので、是非練っていただきたい。
- ・自転車について、資料の方針1～4にあるように、昨年国でも方針が打ち出された。そのため、現在、自転車の利用環境については全国一斉で競争のような形になっている。是非全国のモデル都市になるように頑張っていきたい。

【D委員】

- ・P.60の公共交通の検討支援の対象地域の中で、優先地域とあるが、地区別の説明会の際にはより具体的に地名を示した方が良いのではないか。網掛けや色塗り部分がどこにあたるかといったことを、図を拡大するなどして示した方が良いと思う。
- ・P.100の善行地区の施策の中には、基本方針4で、他地区にある「傾斜の解消」といった記述が見られない。地区全体で見た時には問題ないかもしれないが、部分的に傾斜があるところがある。駅前など道が1.5mの幅で傾斜があるところも見られ、車いすやベビーカーでは通りづらい危険である。このように、地区内で部分的に傾斜がある場所も見られ、そういったところへの対策も必要ではないか。

【会長】

- ・優先地域の議論については、地区別説明会のことを想定されたご意見だと思います。住民説明会では地図を拡大するなど、コンパクトでより地区のことが分かるような資料の作成をお願いしたい。

【事務局】

- ・優先地域の議論に関して、資料の説明では説明を省いてしまったが、地区別の交通の方向性の図表部分で町丁目の区切りと合わせて公共交通不便地域を明示している。

【G委員】

- ・キーワードの注釈を入れた方が良いのではないかと。FRINGEだとかTDMといたってわからない言葉がいきなりでてきても分からない。

【会長】

- ・地域の住民に説明するときには、必要になる。

【会長】

- ・交通事業者の方からご意見はいかがでしょうか。

【J委員】

- ・P.61の新たな交通サービスの提供というところで、まず、大型のバスが入れない地域であれば、仕方ない。
- ・そういったところにはデマンドバスなどを検討していくわけであるが、新たにバスを走らせることが既存のバス交通に影響を与えることもあると思う。せっかく既存のネットワークができていのに台無しになってしまう可能性もあるので、既存のバス路線の維持、確保という部分も交通施策の中で考えていただきたい。

【会長】

- ・地区別のところで、この表現はおかしい、対応した方が良い、という話が今後もでてくると思う。地区別の説明会でも出てくる意見だと思うので、何かお気づきの点があれば、色々な視点からご意見いただきたいので、市の方に連絡をお願いしたい。
- ・資料について、全体として行政の資料としては良いかもしれない。しかし、本日地区別の部分で様々ご意見いただいたので、その部分を反映して地区別説明会用の資料作成をお願いしたい。

2. その他

【事務局】

- ・ 次回開催は、8月22日（木）の13：30から、会場は南消防署の会議室での開催を予定している。
- ・ 公開資料に関しては、討議資料、議事要旨を考えている。議事録については委員のみなさんにご確認いただき、委員名はアルファベット等に変更の上、公開する予定である。
- ・ 公開場所としては、藤沢市の都市計画課や市民相談情報課を予定している。また、ホームページ上でも公開する予定である。

以上